

普及活動情勢報告（令和３年７月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

今年の農業振興の方向性を話し合いました ～令和３年度第1回嶺北地区農業改良普及推進協議会～



担い手の育成について
意見交換

6月22日、令和３年度第1回嶺北地区農業改良普及推進協議会を開催し、農家代表委員6人、関係機関8人に今年度の普及指導計画について説明しました。

「農業で稼ぎ暮らせる担い手の育成」をテーマにした意見交換では、委員から「生活できる収入を得ることで、新しい人が参入しやすくなる」「県内で連携した労力確保対策が必要」等の意見が出されました。また「複合経営拠点の機能向上」「無料職業紹介事業」等、担い手を支援する多様な取組を共有しました。

普及所は、協議会で出された意見を参考に、地域の農業振興を支援していきます。

棚田でのドローン活用に向けて～立割集落協定ドローン水稻防除打合せ～



ドローンでの水稻防除について
説明する普及指導員(左奥)

6月29日、普及所は土佐町立割集会所において、中山間地域等直接支払集落協定「立割地区」を対象に水稻ドローン防除に向けた情報提供を行い、協定取組者12人、関係機関4人が参加しました。

「立割地区」は本年度からドローン防除に取り組むことから、普及所は使用可能な薬剤や他地域での無人ヘリでの薬剤混用事例、農薬散布上の注意点及び病虫害の生態や有効な防除時期等、基本技術について紹介しました。

参加者からは「どの薬剤を使うか悩んでいたが使用薬剤がイメージできた」「ドローンや慣行散布でも適期防除が重要なことが分かった」等の意見が出されました。

今後も普及所は、ドローン防除の円滑な実施を支援していきます。

出荷基準を再確認！！ ～ミニトマト目慣らし会～



出荷物を確認する部会員ら

7月9日、JA高知県れいほく園芸部ミニトマト部会が目慣らし会を開催し、部会員5名が参加しました。

会では部会員らが、実際に出荷されたミニトマトの色付きや規格を確認しました。

普及所は、これから問題になってくる病虫害対策に必要な農薬使用の基本知識を踏まえて紹介しました。部会員からは「定期防除の重要性が理解できた」「害虫の初発生に注意したい」との声が聞かれ、病虫害対策への意識の高まりが感じられました。

今後も普及所は、ミニトマトの高品質生産に向けて支援していきます。

「土佐天空の郷」の増収と省力化に向けて
～本山町特産品ブランド化推進協議会～



今後の栽培管理を共有

7月9日、ブランド米の生産振興に取り組む本山町特産品ブランド化推進協議会の定例会が本山町役場で開催され、生産者29名、本山町農業公社3名、本山町1名、普及所2名が参加しました。

公社からは、今後の活動計画、新規開発した加工品の情報と、初めての取組となるドローンによる防除計画が周知されました。普及所は、生育状況を報告し、今後の水管理や水稻の病害虫の防除方法について指導しました。

生産者からはドローン防除の詳細やウンカ類の防除時期等について質問が出され、栽培に対する高い意識がうかがえました。

今後も普及所は公社と連携して、ブランド米の増収と省力化に向け、取り組んでいきます。